

中長期環境目標

「環境ビジョン2050」に掲げた3分野における「新光電気グループが目指す姿」を実現するために、新光電気グループ（国内）は中長期環境目標（2030年度、2050年度）を策定し活動しています。

気候変動をはじめ深刻化する環境課題への対応を強化するため、2022年9月に「中長期環境目標」の見直しを行いました。「気候変動」については、2030年度目標の大幅な前倒しを行い、「資源循環」「自然共生」については、2030年度目標に加え、長期的な視点に立った活動を展開するため、新たに2050年度目標を設定しました。



気候変動

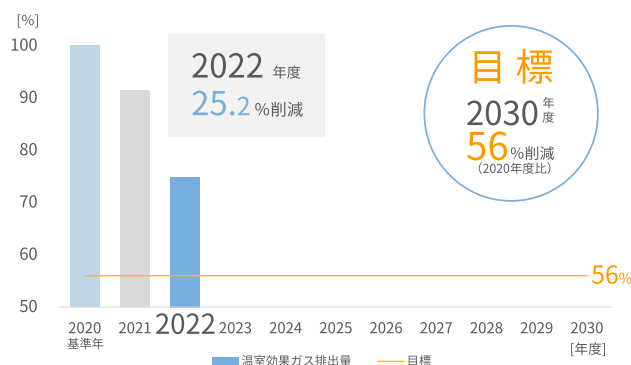
●目標

	2030年度	2050年度
温室効果ガス実質排出量	56%削減 (2020年度比)	実質排出量 ゼロ
再生可能エネルギー使用	使用率100%	使用率100%維持

対象：新光電気グループ（国内）

●進捗状況

温室効果ガス実質排出量削減



※温室効果ガス実質排出量：2021年度Scope 1（エネルギー起源）＋Scope 2（ロケーション基準）
2022年度Scope 1＋Scope 2（マーケット基準）

再生可能エネルギー使用率



活動内容は「気候変動」(P33) 参照



資源循環

●目標

	2030年度	2050年度
廃棄物	50%削減 (2020年度比)	最小化
水使用量	5%削減 (2020年度比)	最小化

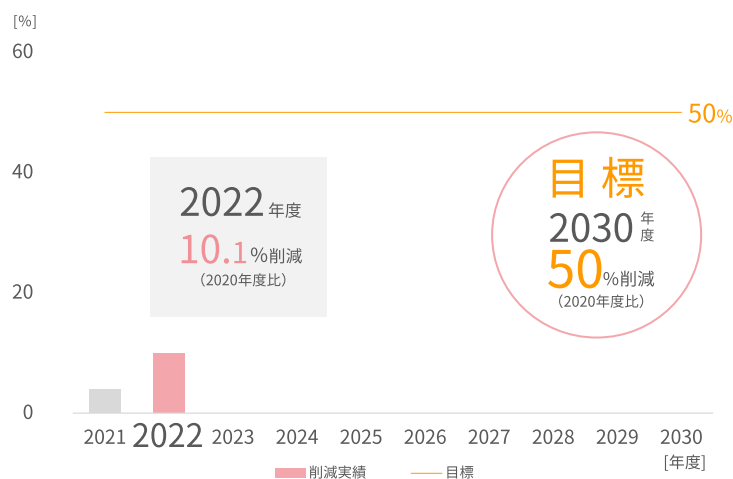
対象：新光電気グループ（国内）

※2030年度目標数値

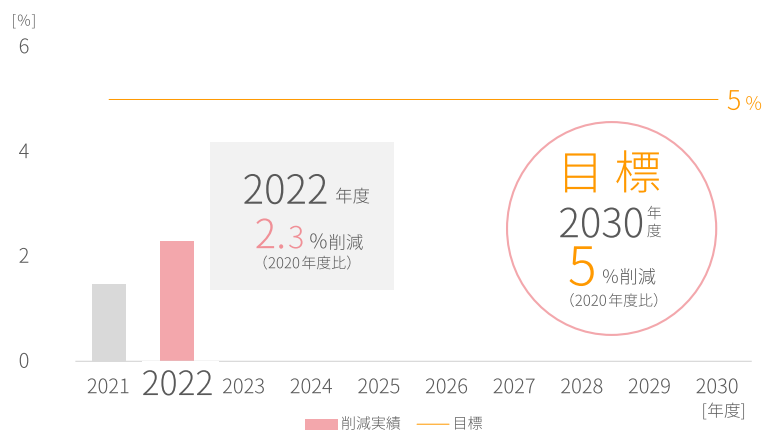
- ・廃棄物目標は、基準年度である2020年度排出量の50%分に相当する廃棄物量を削減する目標
- ・水使用量目標は、基準年度である2020年度使用量の5%分に相当する水使用量を削減する目標

●進捗状況

廃棄物排出量削減



水使用量削減



活動内容は「資源循環」(P39) 参照



自然共生

●目標

	2030年度	2050年度
地域社会	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献
社内緑地	栗田総合センターの生態系を健全に保全する	栗田総合センターを含む各工場の生態系を健全に保全する
社 員	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる

対象：新光電気グループ（国内）

●進捗状況

	2030年度目標	指 標	2021年度 実績/目標 (%)	2022年度 実績/目標 (%)
地域社会	地域社会と連携した生物多様性保全活動の継続による貢献	森林保全活動	2回/2回 (100%)	2回/2回 (100%)
社 内 緑 地	栗田総合センターの生態系を健全に保全する	自然環境調査	調査/調査 (100%)	調査/調査 (100%)
		指標選定	選定/選定 (100%)	—
		効果測定	—	測定/測定 (100%)
社 員	社員一人ひとりの生物多様性に対する意識の向上をはかる	環境教育	3回/3回 (100%)	3回/3回 (100%)
		啓発活動	3回/2回 (150%)	2回/2回 (100%)

活動内容は「自然共生」P43参照